

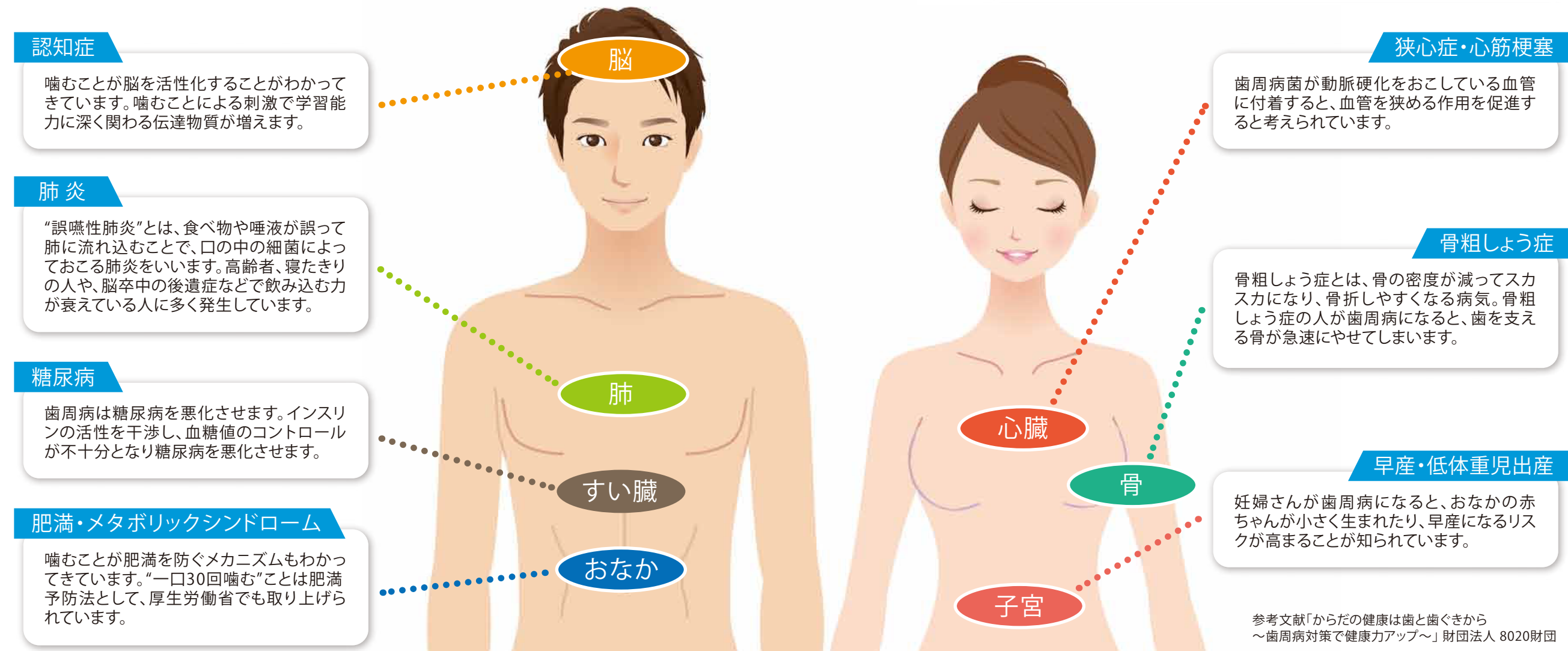
公益社団法人 東京都目黒区歯科医師会

からのお知らせです!!

目黒区民のみなさまへ

歯周病とからだの病気 ~歯周病は全身に影響を及ぼします~

歯周病は歯を失う大きな原因です。歯は食べ物をはじめで出会う「消化器」であるだけに歯周病で歯を失うと、からだ全体に大きな影響が及ぶ可能性があります。そして今、歯周病が全身のさまざまな病気に関わっていることが分かってきました。



参考文献「からだの健康は歯と歯ぐきから
~歯周病対策で健康力アップ~」財団法人 8020財団

8020表彰を行ないました !!

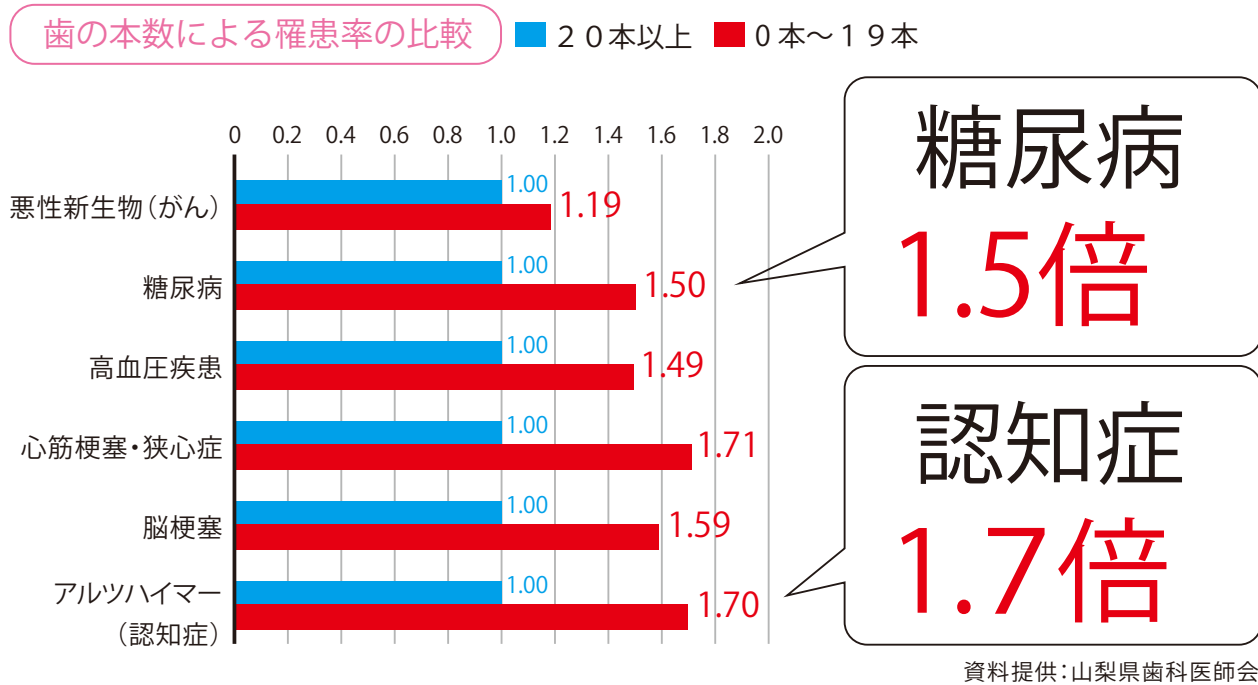
昨年9月27日、目黒区民センターホールにて来賓として青木区長をお迎えし、8020表彰を行いました。当日は冒険家：三浦雄一郎氏の講演会もあり、表彰対象者約100名の他にも多くの区民の皆様にご参加いただき大盛況に終わりました。



区民の皆様のたくさんの笑顔から、私達も様々な歯科医師会の活動を通してより多くの方に8020を達成して頂きたいと思いをしました。

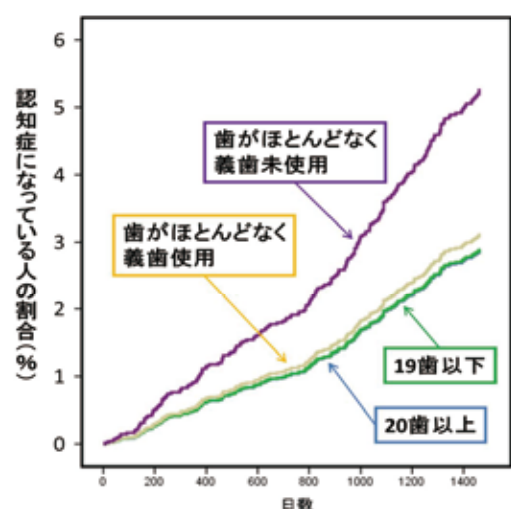
口の健康は全身の健康に大きく関係しています!

山梨県の高齢者における歯の健康と医療費に関する実態調査(平成19年度、約120,000人対象)の結果、歯が20本以上残っている人と19本以下の人では全身疾患の罹患率に大きな違いがある事がわかりました。19本以下の人では糖尿病、高血圧疾患では約1.5倍、心筋梗塞、狭心症などの心疾患やアルツハイマー(認知症)では約1.7倍もの高い罹患率を示しています。



正しい口腔ケアで認知症を予防しましょう!

歯数・義歯使用と認知症発症との関係
(年齢、所得、BMI、治療疾患、飲酒等の有無を調整済み)



認知症の認定を受けていない65歳以上の住民4,425名を対象とした4年間のコホート研究の結果、年齢、治療疾患の有無や生活習慣などに関わらず、歯がほとんどなく義歯を使用していない人は、認知症発症のリスクが高くなる事が示されました。特に、歯がほとんどないのに義歯を使用していない人は、20本以上歯が残っている人の1.9倍、認知症発症のリスクが高いことがわかりました。さらに、歯がほとんどなくても義歯を入れることで、認知症の発症リスクを4割抑制できる可能性も示されました。

※コホート研究・・・要因と病気発症の関連を調べる観察的研究法
2013年 社会保障制度改革国民会議
における日本歯科医師会提出資料より

